

令和6年度（2024年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

商 法

B 日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

令和6年度（2024年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	商	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

問題1（15点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

1. A社は、複数の飲食店を経営する株式会社である。
2. 長年A社の従業員であったBは、会社を設立して自分の店を経営しようと考え、A社と相談した結果、A社との間で、A社が経営する飲食店の一つであるCを譲渡する旨の事業譲渡契約（以下、「本件契約」という。）を締結した。なお、本件契約に際して取り交わされた契約書には、事業譲渡譲受人として「D株式会社 発起人B」との記載がある。
3. 本件契約締結後ほどなくして、Bは自己を代表取締役とする株式会社D社を設立し、Cの営業を行っているが、D社の原始定款（会社法26条1項所定の定款である。）には、本件契約について何らの記載もなされていなかった。

[問い]

A社は未払いの事業譲渡代金を回収したいと考えている。A社は、誰に対し、どのような法律構成で請求できるか、論じなさい。

問題2（10点）

会社法429条1項の責任の性質と損害の意義、民法709条の責任との競合について論じなさい。

以上